

【学校教育計画】

(1) 学校のミッション (令和6年度～令和9年度)

共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行う。

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育を行うとともに、一人ひとりの障がいの状態等に応じた就労支援の取組を充実させる。医療的ケアを必要とするなど、多様な教育的ニーズのある児童・生徒の教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障がい及び健康等の状況に合わせた専門性の高い指導を実践する。加えて、実践を積み重ねてきた「キャリア教育」の視点などにより、一層の授業改善を図る。

また、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これらの学校と交流及び共同学習等を通した、児童・生徒の相互理解を図る。

(2) 学校教育目標

○子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを受けとめ、地域との協働を通して自立と社会参加の基礎となる生きる力を育む

<めざす児童生徒像>

- 主体的に取り組む子ども
- 生活リズムを整え健やかに生きる力をもつ子ども
- 心豊かで他者を思いやる心をもつ子ども
- 自分の気持ちを表現する子ども
- 地域の中で自分らしく社会生活を営む力をもつ子ども

<めざす学校像>

- だれもが安全で安心して過ごせる学校
- 保護者や地域から信頼される学校
- 保護者や地域と協働する学校
- 教職員が連携し高めあう学校
- 特別支援教育の専門的機関として地域へ発信する学校

<めざす教職員像>

- 自らの専門性を高めようと努力する教職員
- 同僚・保護者・地域と協調して業務に取り組む教職員
- 学校運営に積極的に参画する教職員
- 人権感覚を研ぎ澄まし、未来を創造する教職員
- 地域に関心をもち、社会的視野を広げる教職員

(3) 計画策定時点での課題

○ 校内研究において作成・周知した「身につけたい力の内容表」の全体での共通理解やツールとしての活用が課題である。

○ 専門職等を活用した更なる支援体制の充実・保護者や進路先との課題の共有や理解促進と一人1台端末の教育的活用が今後の課題である。

○ 地域支援に対する全教職員の意識向上や地域の小中高に向けた支援体制の幅広い周知ならびに保護者への積極的な情報発信が課題である。

○ 居住地交流や地域の小中高との交流について、それらの活動を共生社会の理解につなげるという目的意識を高める必要がある。

○ 避難訓練やシェイクアウトの回数を増やすことで児童生徒・職員・保護者の意識は高まっているが、保護者との情報共有や地域防災における連携が課題である。

○ 校務グループの体制の見直しにより新体制での業務改善を進めているが、時間対効果を意識した効率的な業務遂行のための体制整備が引き続き課題である。

(4) 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、児童・生徒の発達段階に応じた系統性のある教育課程の編成と授業への活用を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画作成にも役立てることができるよう、学習指導要領の内容を確認しながら発達段階に応じた教育内容の整理を全校で行う。 ・児童生徒の実情や社会のニーズに合わせ、効率的な日課表等の整備を行う。
2	児童生徒 指導・支援	障害や発達に関わる一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線での教育環境整備の意識を定着させ、見やすさやわかりやすさを一層推進する。 ・「チーム支援」を推進し、互いの専門性を生かした支援システムを構築する。 ・医療的ケアや通学支援など教育的ニーズを踏まえた支援体制の充実を図る。
3	進路指導・支援	児童生徒一人ひとりの生きる力を育むためのキャリア教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部における卒業後の社会生活を見据えた系統性のある学習活動について、児童生徒や地域社会の目線で検証する。 ・地域の福祉や労働機関との連携を一層推進するために、学校の教育活動を意識的に発信する。
4	地域等との協働	地域とともに、インクルーシブな社会の形成に向けたセンター的機能による発信と協働の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働の推進のために地域資源の活用を進めながら各種団体との関係性を深め、教育活動の充実を図る。 ・センター的機能による発信の更なる充実を図ると共に全校体制での校内外支援の在り方を整理する。
5	学校管理 学校運営	信頼される学校づくりの推進のため、安全で安心できる指導体制及び管理体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災のあり方について、保護者や地域の目線で考え、訓練を計画・実施・検証する。 ・各グループにおける業務改善の推進のため、人材育成の観点も踏まえた各組織体制の見直しを図り、検証する。 ・働き方改革を意識した取組を推進し、各種業務の安定化を図る。